

# Friendly Awara

## 第3次福井県立金津高等学校日中友好使節団派遣



魯迅中学校にて



齊藤会長

### ～ごあいさつ～

会員の皆様には、藤野巖九郎と魯迅の師弟愛を機縁とするあわら市と紹興市の友好都市交流の事業推進にあたり、それぞれの立場からご協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、昨秋は老朽化が心配されておりました藤野巖九郎記念館がえちぜん鉄道あわら湯のまち駅前の「あわら温泉湯のまち広場」内に移築・整備されました。やや施設規模面では不満が残るところですが、できる限り多くの市民や観光客の皆さんに藤野先生の人となりや魯迅との交流、時代背景などを知っていただこうと、現物資料のほか約200点の電子化された資料がわかりやすくコンパクトに展示されております。ご来館されていない方には、是非とも機会を見つけて訪れていただきたいと思っております。

また、昨年は魯迅の孫にあたる周令飛氏、さらには紹興市人民政府外事與僑務弁公室主任に新たに就任されました謝振江氏一行が来市され、懇談することができました。両市の友好関係の礎を築いてきた魯迅の長男周海嬰氏や私の父齊藤五郎右エ門がすでに旅立ち、私たち次の世代により両市の友好関係を更なる発展へと導く段階となっております。本年10月には紹興市で日本文化ウィークが開催され、翌年には友好都市盟約締結30周年の記念式典があわら市で開催されることになっております。

今後もこの友好交流を育み発展させるため全力で取り組んで参りますので、皆様のご支援をお願い申し上げます。

## ～中国見聞録～ 【特集】

### 第3次福井県立金津高等学校日中友好使節団派遣

第3次となる福井県立金津高等学校日中友好使節団一行7名が、三田村彰校長を団長として11月28日から6日間の日程で紹興市等を訪れました。

この訪中により、生徒たちは現在の中国事情を直接見ることができ、また文化の違いを肌で感じる良い機会を得たのではないのでしょうか。

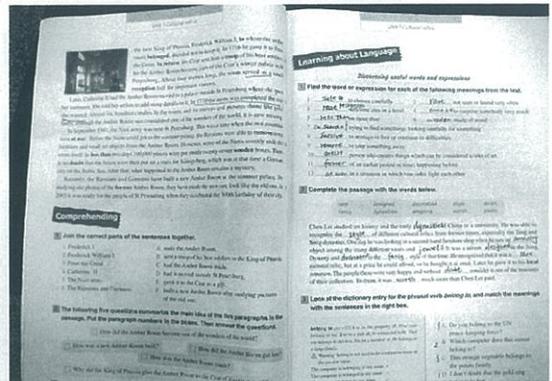
とりわけ、魯迅中学校での英語授業の見学やホームステイ先での出来事はとても刺激的であった様子でした。

### 「中国見聞録友好の絆」より

#### 中国訪問を終えて

Y・Hさん

今回、私達は『中国』にある魯迅中学を訪問したわけですが、英語の授業の密度が『日本』と比べて天と地程の差がありました。授業で使用可能なのは英語だけで、中国語は先生が補足説明するときの少ししかありませんでした。私達の英語の授業は、英語を使い話すことはありますが、英文の訳・文法説明等でどうしても日本語が多くなってしまいます。なにより英語だけでは授業を理解できません。しかも、魯迅中学では45分授業×8限&放課後勉強の部活なしです。『中国』の勉強に入れている力の大きさがよく分かりました。



英語教科書

#### 中国訪問団に参加して

M・Kさん

多くの貴重な体験の中で、特に印象に残っているのがホームステイです。参加する前から大きな不安と、わくわくするような期待の両方を抱いていました。ホストファミリーは、父母、祖母と魯迅中学に通う女の子の4人家族でした。初めて出会った私に優しく接して下さったホストファミリーには、本当に感謝しています。おいしかった手作りの夕食、絶えることのない笑顔、家族との夜の外出、どれも私にとっては初めての貴重な体験であり、感動の連続でした。

#### 中国姉妹校訪問団に参加して

T・Kさん

今回の中国訪問で、私にとってとても有意義なものになりました。実際に国境を越えて直に中国の文化や歴史を学んだことや、日本を離れて生活をしたことで、日本のよいところを再確認して、中国に対する印象だけではなく、日本に対する考え方も大きく変わりました。また、訪問中はたくさん英語を使う機会があり、英語の大切さを実感し、英語に対する勉強意欲をかきたたせられました。中国訪問で学んだことを自分のものだけにせず、周りの人たちにも中国のことを話してあげたいです。中国訪問は、実に有意義な時間でした。



魯迅故里にて

## ～友好の絆～

### 第26次あわらし日中友好親善少年使節団派遣

手塚和典あわらし市教育委員会委員長を団長として第26次あわらし日中友好親善少年使節団一行18名（うち生徒14名）が紹興市等を訪問しました。

歓迎式典や交流会、ホームステイを通して人々や食などの文化に直接触れ、上海市内や北京の天安門広場、魯迅故里館、万里の長城など、世界的な歴史遺産等を見学することができました。

#### 中国を訪問して

K・Mさん

紹興市文理学院附属中学校での交流会では、僕たちは体育祭の時に踊ったダンスを踊ったりSMAPの世界に一つだけの花を歌ったりしました。1か月前から練習してきた成果を十分に出せたと思います。文理学院附属中学校の生徒たちの出し物はとてもすごかったです。プロ並みに上手に琴を弾く人、その音色に合わせて書道をしたり、絵を描いたりする人、どの人も本当に上手で本当に中学生なのかと大きな衝撃を受けました。交流会の最後には、けん玉やこま、折り紙などの日本の昔ながらの遊びで交流しました。

みんな結構楽しんでくれました。特にけん玉が人気で、みんな練習し競い合っていました。こうして楽しんでもらった時はとてもうれしかったです。



第26次あわらし日中友好親善少年使節団一行

#### 中国に行ってみて

J・Sさん

僕は中国へ行ってたくさんの人に出会いました。しかし、悪い印象を持つような人は一人もなく、むしろとても親切な人ばかりでした。だから僕は中国人だから…という偏見を持ったりしないしてほしいです。今、中国は経済的に急発展を遂げています。なので、日本はもっと中国と友好関係を築くべきだと思います。そのためには、形だけの交流ではなく、心から、本当の意味での交流が必要です。藤野先生と魯迅先生のような、国境を越えた深い絆は、現代にこそ必要なものだと思います。僕は今回の中国訪問で得た体験を生かして、これからも、国際交流ができればいいなと思います。こんな貴重な経験ができて本当に良かったと思います。本当にありがとうございました。



上海にて

## 藤野巖九郎記念館リフレッシュオープン

昨年11月1日、えちぜん鉄道あわら湯のまち駅前に藤野巖九郎記念館がリフレッシュオープンしました。当記念館は昭和59年に舟津の市文化会館横に移築されましたが、著しく老朽化したことに加え、市民や観光客など出来るだけ多くの皆さんに訪れていただけるよう、温泉街中心部の「あわら温泉湯のまち広場」内にその核施設として整備されたものです。資料館には、福井工業大学の芦田教授らの協力を得て、わかりやすくコンパクトに資料展示されております。是非ともご来館ください。



## 巖九郎記念館から



記念館職員 リュウ トウレン 劉 冬蓮さん

藤野巖九郎記念館はリニューアルオープンして4ヶ月が経ちました。多くの来館者から「きれいになった」、「分かりやすくて見やすい」、「特に電子展示や写真の回転等は先進的でユニーク」などと高い評価をいただいております。今後は市民や観光客の皆さんにホスピタリティあふれるご案内に努めたいと思います。

来館者数 平成23年度 882名 (内中国の方 83名)  
累計 38,539名 (内中国の方 4,701名)

※平成23年4月～10月までは移築のため休館となっていましたので、来館者数は平成23年11月1日～平成24年2月29日までの累計となっています。

### 〈平成23年度の主な交流内容〉

平成23年	
5月26日	あわら市日本中国友好協会総会 (文化会館)
6月11日	NPO 法人福井県日本中国友好協会 通常総会 (福井県青年館)
10月18日	周令飛氏来市
11月1日	藤野巖九郎記念館リフレッシュオープン
11月5日	浙江省総工会一行6名藤野巖九郎記念館視察
11月28日	第26次あわら市日中友好親善少年使節団派遣 (団長 手塚和典教育委員長 一行18名 ～12月3日) 第3次福井県立金津高等学校日中友好使節団派遣 (団長 三田村彰校長 一行7名 ～12月3日)
12月6日	JICA 中国青年研修事業「中国行政グループ」一行23名 藤野巖九郎記念館視察
平成24年	
1月11日	紹興市人民政府外事與僑務弁公室謝振江主任一行来市
1月18日	日中国交正常化40周年記念・2012年年賀会
1月23日	あわら市日中友好協会役員会 (藤野巖九郎記念館情報コーナー)



紹興市人民政府外事與僑務弁公室謝振江主任一行

**編集後記** 昭和58年から始まった紹興市との友好都市交流も平成25年には30周年という大きな節目の年を迎えようとしています。両市の友好関係の更なる発展が大いに期待されます。